

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成29年2月16日(2017.2.16)

【公開番号】特開2016-188260(P2016-188260A)

【公開日】平成28年11月4日(2016.11.4)

【年通号数】公開・登録公報2016-062

【出願番号】特願2016-157544(P2016-157544)

【国際特許分類】

A 6 1 K	31/7042	(2006.01)
A 6 1 K	31/704	(2006.01)
A 6 1 P	43/00	(2006.01)
A 6 1 P	13/02	(2006.01)
A 6 1 P	13/00	(2006.01)
A 6 1 P	29/00	(2006.01)
A 6 1 K	36/076	(2006.01)
A 6 1 K	36/539	(2006.01)
A 6 1 K	36/484	(2006.01)
A 6 1 K	36/65	(2006.01)
A 6 1 K	36/884	(2006.01)
A 6 1 K	36/232	(2006.01)
A 6 1 K	36/744	(2006.01)
A 6 1 K	36/804	(2006.01)
A 6 1 K	36/185	(2006.01)
A 6 1 K	36/68	(2006.01)

【F I】

A 6 1 K	31/7042	
A 6 1 K	31/704	
A 6 1 P	43/00	1 2 1
A 6 1 P	13/02	
A 6 1 P	13/00	
A 6 1 P	29/00	
A 6 1 K	36/076	
A 6 1 K	36/539	
A 6 1 K	36/484	
A 6 1 K	36/65	
A 6 1 K	36/884	
A 6 1 K	36/232	
A 6 1 K	36/744	
A 6 1 K	36/804	
A 6 1 K	36/185	
A 6 1 K	36/68	

【手続補正書】

【提出日】平成28年12月22日(2016.12.22)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

**【特許請求の範囲】****【請求項 1】**

1日投与単位あたり(A)バイカリン80～150mg、(B)グリチルリチン酸又はその塩10～75mgを含有し、該(A)成分1重量部に対して該(B)成分が0.03～1重量部である五淋散エキス配合製剤。

**【請求項 2】**

固体製剤形態または液状製剤形態である請求項1記載の五淋散エキス配合製剤。

**【請求項 3】**

膀胱の炎症抑制作用、及び膀胱の炎症に基づく頻尿を抑制する作用を備えた五淋散エキス配合製剤の製造方法であって、1日投与単位あたりの前記製剤中のバイカリン及びグリチルリチン酸又はその塩が、

(a)バイカリン80～150mg、

(b)グリチルリチン酸に換算して10～75mg、及び

(c)該(a)成分1重量部に対して該(b)成分が0.03～1重量部、

となるように調整することを特徴とする方法。

**【請求項 4】**

膀胱の炎症抑制作用、及び膀胱の炎症に基づく頻尿を抑制する作用を備えた五淋散エキス配合製剤の品質管理方法であって、

前記製剤中の(A)バイカリン及び(B)グリチルリチン酸の量を測定し、

1日投与単位あたりの前記製剤中のバイカリン及びグリチルリチン酸又はその塩が、

(a)バイカリン80～150mg、

(b)グリチルリチン酸に換算して10～75mg、及び

(c)該(a)成分1重量部に対して該(b)成分が0.03～1重量部、

であることを指標とし、

前記指標(a)～(c)に基づいて、前記製剤が膀胱の炎症抑制作用、及び膀胱の炎症に基づく頻尿を抑制する作用を備えていることを判断する方法。